



テーマ

Theme

男女の望ましい人間関係を目指して

学校・園名

School name

大津市立仰木中学校

講師等

Lecturer etc.

滋賀県立男女共同参画センター

実施日

Date

2018年12月5日

教科等

Subject etc.

学活

授業
Class

「男女の望ましい人間関係を目指して」をテーマに、滋賀県立男女共同参画センターによる連携授業が、仰木中学校2年生174名を対象に行われました。

講師は、はじめに「学習の主体はあなた。この1時間の学習はみんなが考え、みんなが作ります。この時間の中で自分でできることをみつけてください。」と話されました。

そして、次のような指示に従ってそれぞれ紙に図形を書きました。『大きな○を描く。その下に今の○よりも小さな○を描く。それらの周りには大小の△がある。（以下、省略）』書き終わった後、隣の人と用紙を比べ自分の思いを伝えるとともに、相手の思いを聞きました。講師は「同じ言葉を聞いて紙に書いても、自分と同じ絵を描いた人はいない。人は一人ひとり違うから」と導かれました。

そのあと『デートDV（ドメスティック・バイオレンス）』についてのDVDを鑑賞しました。その内容は、主人公が、交際相手から言葉や行動を制限されていた時に、「もし従わなかったら嫌われるのでは!？」と断ることができずに悩むというストーリーでした。

講師は「男性でも女性でも加害者・被害者になる可能性はある。『デートDV』は暴力だけではない、自分も無意識に支配しているかもしれない。おかしいと感じたら、友だちや周りの大人、もしくはたくさんの相談窓口があるので相談してほしい。友だちから相談を受けたら否定せず聞いて、本人がどうしたいかを尊重してあげてください。」と話されました。生徒は講師からのたくさんのメッセージを静かに聞いていました。

感想

Impression

on

生徒より Impression from Children

- 相手のことが好きだからと、きつく言ったり行動を制限するのはよくないと思ったし、相手だけでなく皆の気持ちを考えないといけないと思った。
- 自分の思い通りにならないこともあるからといって傷つける行為は絶対にしてはいけない。自分の気持ちをしっかり伝える。困ったら身近な友達や先生、親に相談し一人で悩まないようにする。
- 人は一人ひとり違うのだとわかった。それぞれの個性や良いところを受け入れることが大切。
- この話を聞くまで、DVは自分には関係ないと思っていたけど、身近に起こりうることで、自分も無意識に加害者や被害者になるかもしれないと感じとても怖くなりました。よいお話が聞けました。
- 男女で付き合っている人たちだけでなく友達関係でもあることだと思う。これからは友達と話すときも相手を縛っていないかきちんと考えて一言一言発しようと思った。

学校より Impression from school

■事前の打ち合せを踏まえ、子どもたちの当日の様子も見ながら進行していただき、心を込めて未来へのメッセージを伝えていただいたことが有難かったです。とてもよかったので今後も引き続きお願いしたいです。

講師より Impression from lecturer

- 50分では短いので2時間授業(100分)で実施できると良かったです。どこまで伝えられたかは定かではないが、少しでも知ってもらえたらという思いで取り組みました。
- ”違いを”認め合える世の中にしていけるよう大人も力を尽くします！